

埼玉医科大学

国際医療センターニュース

救命救急センター

患者中心主義



心臓病センター

メインエントランス
(ナイチンゲールとヒポクラテス)

包括的がんセンター

平成19年4月開院

基本理念 : 患者中心主義のもと安心で安全な満足度の高い医療の提供をし、かつ最も高度の医療水準を維持する。

使 命 : 当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供する。

基本方針 : 患者中心主義 (patient-oriented) を貫き、あらゆる面で“患者にとって便利”であることを主眼とし、患者ひとりひとりにとって最も適切な医療を提供する。

あいさつ 理事長 丸木 清浩



埼玉医科大学国際医療センター建設も順調に進み、平成19年4月1日の開設までひと月あまりとなりました。この病院の目標は安心して安全な満足度の高い患者中心主義(patient oriented)の医療を提供することです。私たちは患者中心主義の医療を実現する21世紀の病院を作ろうとハード、ソフトともに検討を重ね計画して参りました。私達の考え方に賛同していただいたスタッフが全国から集結し、オープンにむけての最終段階に入っております。

国際医療センターは、日本人の3大死因であるがん、心臓病、脳卒中の予防、診断、治療を重点的に行うために、がんセンター、心臓病センター、救命救急センター（脳卒中センターを含む）の3つのセンターから成っており、埼玉県全域を診療区域としております。ソフト面では、それぞれのセンター内で、複数診療科の医師が、それぞれの専門分野を生かしながら、チームを組み連携し協力し、一人の患者さんの診断、治療にあたります。それにより個々の患者さんは、それぞれの疾患に対して、最適で最善の医療を最適な時期に、スムーズに受けることができます。

ハード面では、患者さんのご負担を少しでも軽減するため、検査や診察時の患者さんの移動が少なく済むように配慮し、医療器械も可能な限り迅速に検査や診察結果を患者さんの診断治療に役立つよう配置いたしました。またゲノム医学研究所と隣接しており、より高度で最先端の研究、治療も行い臨床と医学研究を結ぶトランスレーショナルリサーチにも取り組みたいと考えております。また、未来の日本の医療のために、今後の日本の医療を担う若い医師や看護師の教育も併せて積極的に行って参ります。

このようにして、私達は埼玉医科大学の経営理念である「限りなき愛」のもと患者中心主義を実現し、日本国内だけでなく世界でも第一級の医療センターcenter of excellent(COE)を目指します。

国際医療センターのエントランスホールには「限りなき愛」の象徴として、ヒポクラテスとナイチンゲールの絵画を掲げ、前庭には「愛、希望、祈り」をテーマとした3人の処女像を建立いたしました。そして絵画の上には「限りなき愛」の英語訳であります ETERNAL LOVE AND CARE FOR ALL をレイアウトいたしました。

埼玉医科大学国際医療センターは、21世紀の医療におけるニューフロンティアホスピタルとなることをお約束して挨拶いたします。

埼玉医科大学国際医療センターは、21世紀の医療におけるニューフロンティアホスピタルとなることをお約束して挨拶いたします。

あいさつ 国際医療センター開設準備委員長 尾本 良三



埼玉医科大学国際医療センターは、いよいよ平成19年4月1日に開院を迎えます。すでに前号までの国際医療センターニュースで強調してある通り、国際医療センターでは徹底的な患者中心主義で診療が行われます。外来予約はFAXでも電話でも受け付けます。外来診療では、患者さんをお待たせしないで、しかもゆっくり丁寧に一人一人の患者さんを診させて頂きます。そして、患者さん一人一人に最も適切な医療を提供いたします。診療科の垣根は全くありません。複数の診療科が一体となってそれぞれの患者さんの診療にあたります。患者さんの動線は短く、また検査結果も即日出る体制をとっております。

国際医療センターの特徴の一つは、かかりつけ医との連携をととても大切に考えていることです。病診連携や病病連携を従来よりも更に緊密なネットワークとして構築いたします。また、クリニックや病院からご紹介頂いた患者さんがもし入院治療を受けた場合には、ご紹介もとの先生方が随時自由に国際医療センターを訪問して頂いて患者さん方を受け持ち医と一緒に診ることが出来るようなセミオープンの形態をとりたいと考えております。

もし患者さんが入院になった場合には、主な治療が終わったあとは紹介もとの先生のところを経過を診て頂いたり、またいつでも国際医療センターでも診させて頂くような自由でしかも緊密な関係を他の診療所や病院と構築したいと願っております。もう一つ大切なことは、日高キャンパスの国際医療センターは毛呂山キャンパスの大学病院とはわづか3kmしか離れておりません。両院は文字通り緊密に連携しております。お互いに補いあう相補的な関係にあります。このことによって、あらゆる疾病の治療に安心して応じられると信じております。

救命救急センターについては、第3次救命救急センターの指定を受ける計画です。2次救急の患者の受け入れも行います。小児救急センターでは、新生時期に重症化する先天性心疾患や小児外科領域の重症例など、主として3次の小児救急患者に対応いたします。小児救急全体としては大学病院の救急部と緊密に連携してケアして参ります。現在、小児救急は全国的にみても大変困難な状況にありますが、国際医療センター・救命救急センターは地域の医師会の先生方との緊密な連携によってその責任を果たしたいと願っているものです。地域の皆様のよき理解を得て国際医療センターがその本来の機能を十分に果たしたいと願っております。

心臓病センター長のあいさつ



にしむら しげゆき
西村 重敬 心臓病センター長、心臓内科 診療科長・教授

専門分野：循環器病学、虚血性心疾患の診療

出身大学：大阪医大 1975年卒

主な資格：日本内科学会認定内科専門医：指導医：認定医、日本循環器学会
認定専門医他

埼玉医科大学病院心臓病センターでは、心臓内科、心臓血管外科、小児循環器科の専門医が、協力してあらゆる循環器疾患の診療にあたってきました。これまでの経験を活かし、国際医療センター内の心臓病センターとして、最新の設備を整えた施設で、診療を開始いたします。

心血管系の急性疾患である、急性心筋梗塞、急性大動脈解離、急性心不全などは、一分でも早い治療によって救命が可能となる重篤な疾患です。それらに対応できるよう、迅速な診断から適切な治療を24時間提供できる体制を整えています。入院後は、早期からのリハビリテーションと再発予防のための支援を行います。その後の再発予防と診療を、地域診療期間と密接の連携をとりながら、長期間に続けていく体制をとります。

国際的レベルでの診療を行いながら、本邦では数少ない施設でしか実施されていない高度な技術を要する診療での実績を積み重ねてきました。その一部は、先天性心疾患の出生児診断、大動脈瘤へのステント植え込み治療の多数例の実績、心房中隔欠損症に対するカテーテルを用いた閉塞術であり、診療を希望して、全国から多くの方が来院されています。閉塞性動脈硬化症例への血管再生治療、心不

全症例に対する人工心臓を用いた治療、心筋再生治療などの最先端の治療も行っています。難治性心不全治療にも集約的に取り組み、心臓移植治療の施設認定を受けており、今までに2例実施いたしました。日々、日常診療の改善や高度の専門技術の開発、診療に役立つ研究にも取り組んでいます。

あらゆる心臓血管病の急性期から慢性期までの診療を行い、一人一人に最適な治療を提供しながら、生じてくる様々な問題をともに解決していく支援を致します。今後は、治療にとどまらず、生活習慣病から発症してくる心血管病予防を、地域内で実行していくことが重要となります。そのためには、センターで働く者の努力と献身に加えて、地域の医療施設との緊密な連携、地域の市町村からの援助、ご家族の支援、患者さんの協力が不可欠です。我が国の地域医療の新しいモデルとなるような診療の仕組みを構築しながら、同時に最先端の医療を提供し、安全に実践していきます。これからの医療を担う医師、看護師、多くの職種の若い人達の教育と研修ができるセンター、地域の先生方の生涯研修にも役立てるセンター、を目指します。皆様のご理解とご支援を賜りたいと存じます。

医師紹介：心臓病センター



まつもと かずお
松本 万夫

心臓内科（不整脈治療部門長）・教授
専門分野：不整脈の診断と治療、
心不全再同期療法

出身大学：広島大学 1979年卒

主な資格：日本内科学会（認定医、指導医）、日本循環器病学会（評議員、専門医）、日本心不全学会（評議員）、日本不整脈学会（評議員）、日本病院会診療情報管理士 他

不整脈は放置してよいものから、突然死に至る重症なものまでありますが、これらを的確に診断する最新の知見と装置を備え、治療においても最先端の治療が可能です。薬剤療法から、不整脈の原因を取り除くカテーテルアブレーション、突然死を予防する植え込み型除細動器、脈を正常に保つペースメーカ、心不全を改善させる再同期療法（ペースメーカ的一种）などをご提供できます。エビデンスにもとづき、患者さんのニーズに対応したオーダーメイドの治療を目指します。



こみやま のぶゆき
小宮山伸之

心臓内科（心臓血管インターベンション部門長）・教授
専門分野：虚血性心疾患、心血管疾患一般、
血管内イメージング、心血管再生医療

出身大学：千葉大学 1983年卒

主な資格：日本内科学会内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、米国内臓病学会正会員（FACC）

日本心血管インターベンション学会評議員・指導医として、心臓血管領域のカテーテル治療（インターベンション）を中心に診療・研究を行っています。血管内超音波法や血管内視鏡による診断のほか、最近ではマルチスライスCTやMRIによる非侵襲的な心血管画像診断の応用も開始し、患者さんにとって最良の診断・治療を提供すべく努力いたします。また、末梢動脈閉塞による難治性潰瘍や心筋梗塞に対する再生医療の実践も計画しています。

医師紹介：心臓病センター

まつむら まこと
松村 誠

心臓内科（心エコー検査部門長）・
助教授

専門分野：心臓血管疾患、超音波医学
出身大学：札幌医科大学 1979年卒
主な資格：日本循環器学会専門
医、日本超音波医学会専門医・指
導医 他

心エコー検査室は外来と入院患者さんの主に心臓の病気や機能を検査するところですが、当センターでは大血管をはじめ、腹部臓器、頭部、頸部、四肢など全身の血管系の病気や異常、あるいは動脈硬化の程度を評価するVascular Lab（血管検査室）としての役割も担います。最新の診断装置を使用して心臓の三次元、心筋ストレイン、収縮の同期性など新しい心機能の解析に積極的に取り組み、また、経食道心エコー、コントラスト/運動/薬物負荷心エコーなどの専門的な検査を日常的に実施したいと考えております。

むらまつ としひろ
村松 俊裕

心臓内科（難治性心不全治療部門
長）・助教授

専門分野：心不全・心移植・心臓核医学
出身大学：埼玉医科大学 1982年卒
主な資格：日本循環器学会専門
医・日本核医学会専門医・日本超
音波学会専門医 他

心臓内科（難治性心不全治療部）では、様々な心疾患に起因する心不全に対し最新の知見に基づく薬物療法を基本に、非薬物療法（カテーテル治療、IABP、PCPS、両室ペーシング）を行っています。それぞれの病気と診療に対しては高い専門性が必要となりますので、専門の担当者が決まっております。また、心臓外科と協力して植込み型人工心臓や心臓移植の適応も考慮しています。私は主に心移植後患者の診療を担当しています。埼玉医科大学病院では現在心臓移植登録者が20名おられ、移植後患者数は12名です。このうちの成人5名が当科通院されており、さらに渡航移植された1名もまもなく帰国されて当科通院予定となっております。心不全の患者さんの診療に貢献したいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

しんらい ひろし
新井 博

心臓血管外科 診療科長・教授

専門分野：成人心臓血管外科・心不
全外科・大動脈外科

出身大学：群馬大学 1987年卒
主な資格：日本胸部外科学会指
導医、日本心臓外科学会専門医
他

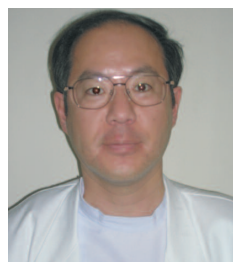
国際医療センター心臓血管外科におきましては心臓血管外科一般のみならず心臓移植を含めた心不全外科までも提供することのできる本邦でも有数の施設であります。また外科領域で手術の低侵襲化が重要視される時代となっていますが心臓血管外科においても例外ではありません。私の専門領域では冠動脈バイパス手術の際、人工心肺を用いずに行うこともその一つであり、私自身2002年以降ほぼ全例にOff-pumpバイパスを行っており、さらに全身麻酔を行わずに硬膜外麻酔を用いた意識下のOff-pumpバイパス術も行っております。これら一連の方法は患者様の早期離床・早期退院と高い満足度とに大きく寄与しております。国際医療センター心臓血管外科におきましては患者様の長期的視野に立った質の高い医療を提供いたします。

いまなか かずひと
今中 和人

心臓血管外科（心臓移植・補助人工
心臓治療部門）・講師

専門分野：成人心臓血管外科全般
出身大学：東京大学 1988年卒
主な資格：1999年医学博士（東京
大学）、心臓血管外科専門医、日
本外科学会指導医、日本胸部外
科学会指導医、日本心臓血管学会
国際会員

私は1999年に埼玉医大に赴任し、もっぱら成人の心臓血管手術を担当してまいりました。この8年の間にも、低侵襲手術をはじめ心臓血管疾患に対する治療の様々な進歩・変遷がありましたが、決して変わらないこと、変ってはならないことは、医療は患者さんのためにある、ということです。これまでも、これからも、何よりも患者さんの立場に立った心のこもった医療を、安全性・確実性を重視した医療を、また、レベルの高い医療を目指します。

あさくら としゆき
朝倉 利久

心臓血管外科（大動脈外科部門
長）・講師

専門分野：心臓血管外科
出身大学：旭川医科大学 1985年卒
主な資格：日本胸部外科学会指
導医、日本外科学会指導医・専門
医、心臓血管外科専門医、循環器
専門医 他

成人心臓血管の病気のなかで、代表的には胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、急性大動脈解離、閉塞性動脈硬化症と呼ばれる疾患の外科治療を担当致します。従来より当科では、上記に対する手術に加え、最先端医療のステントグラフト治療を施行してきました。このたび、国際医療センターには、日本でも有数のカテーテル手術室が設備され、手術とカテーテル治療を同時に施行するハイブリット治療が可能となります。手術リスクが高い患者さんに、より低侵襲な最先端の治療を提供したいと思っております。



かとうぎ としゆき
加藤 木利行

小児心臓外科、小児心臓科（兼）
診療科長・教授

専門分野：先天性心疾患の手術
出身大学：慶応義塾大学 1973年卒
主な資格：日本胸部外科学会評議員、
日本胸部外科学会指導医、心臓血管外科専門医、日本外科学会指導医

都立清瀬小児病院および慶応義塾大学病院において、長年にわたり先天性心疾患の外科治療に従事して来た。得意とする領域は自己肺動脈弁による大動脈弁置換術（ロース手術）、大動脈弁輪拡大術（今野手術）、完全型房室中隔欠損症の修復術、大血管転位症に対するスイッチ手術、単心室症に対するフォンタン手術、ファロー四徴症の手術等である。乳幼児期に手術を受けたあとの青壮年期における先天性心疾患の再手術経験も豊富である。



こばやし としき
小林 俊樹

小児心臓科（小児心臓インターベンション部門長）・助教授

専門分野：小児循環器病学、先天性心疾患

出身大学：埼玉医科大学 1981年卒
主な資格：日本小児科学会専門医、日本小児循環器学会評議員

先天性心疾患を中心とした小児心臓病を中心に、胎児期の出生前心臓病診断と成人における先天性心疾患に対する治療管理を小児心臓科で行っております。私は特に先天性心疾患に対するカテーテル治療と小児心臓移植後症例の移植後免疫抑制治療管理を行っております。この数年間、カテーテル治療数は国内上位5施設以内の治療数を行っており、北海道・東北・甲信越・関東全般より患者さんが来院・入院治療を受けていらっしゃいます。

医師紹介：包括的がんセンター



やまもと あきふみ
山本 明史

皮膚腫瘍科・皮膚科 診療科長・教授
専門分野：皮膚腫瘍学、メラノーマ

出身大学：岐阜大学 1978年卒
主な資格：日本皮膚科学会皮膚科専門医、日本皮膚科学会皮膚腫瘍指導専門医、日本皮膚悪性腫瘍学会副理事長 他

皮膚腫瘍、すなわち皮膚がんの診断・治療を担当しています。皮膚がんもがんの一種ですので、適切な治療を受けなければ、生命の危険に陥ってしまいます。皮膚がんのなかでも、一般にほくろのがんと呼ばれるメラノーマ（悪性黒色腫）は非常に悪性であり、また早期の診断も難しく、専門的な診断・治療を必要とします。私は長年国立がんセンター中央病院にてメラノーマを中心とした多数の皮膚がんの診断・治療の経験を持っております。



せんざき ひであき
先崎 秀明

小児心臓科（小児心臓ICU部門長）・助教授

専門分野：小児循環器一般、心不全、血行動態心機能、川崎病、胎児エコー、新生児循環器

出身大学：東京大学 1988年卒
主な資格：日本小児科学会専門医、日本小児循環器学会評議員

先天性心疾患の心臓力学、循環生理における新しい分野を世界に先駆け開拓。心疾患血行動態領域においては日本小児循環器医の中でもトップクラスである。さらに、神経性因子を中心とする心不全進展のメカニズムについても基礎、臨床研究を行っており、心不全治療の向上に力を注いでいる。また、未だ原因不明の小児特有の疾患である川崎病の病態生理に関して、世界に先駆的な研究、診療を行っている。



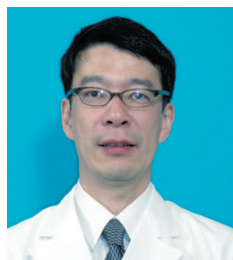
たけなつ みお
竹田津未生

小児心臓科（小児心血管イメージング部門長）・講師

専門分野：小児循環器一般、胎児エコー、不整脈、心臓核医学、新生児循環器

出身大学：旭川医科大学 1989年卒
主な資格：日本小児科学会専門医、日本胎児循環研究会幹事

超音波エコー、とくに近年発展が目覚しく臨床的重要度の増している分野のひとつである胎児エコーのスペシャリスト。女性では日本小児循環器科医のなかでも中心的存在を示しつつある。



きた ひろと
喜多 宏人

消化器病センター消化器内科 診療科長・助教授 内視鏡検査治療センター長

専門分野：内科学、消化器病学、肝臓病学、消化器内視鏡学

出身大学：東京大学 1988年卒
主な資格：日本消化器病学会指導医、日本肝臓病学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医

包括的がんセンターのなかで、消化器病センターの消化器内科部門を担当いたします。胃がん、食道がんなどの消化管のがんに対して内視鏡切除などの内視鏡治療を行います。また、肝臓がんに対してラジオ波焼灼療法や肝動脈塞栓療法を中心に集学的先端治療を行います。患者さんの御希望を十分お聞きした上で、納得のいく治療を安全におこなう事を常に心掛けております。

※医師紹介は次号に続きます。

国際医療センターにおける特徴ある医療

前立腺センターの役割

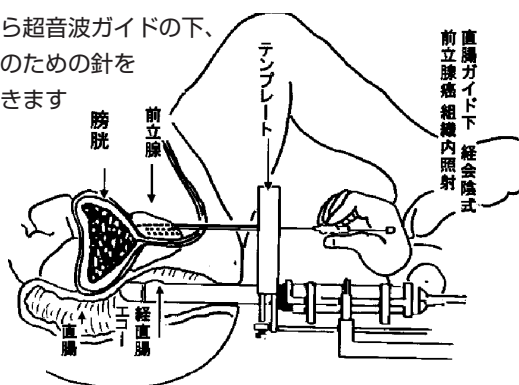
包括的がんセンター：上野 宗久

前立腺がんは男性の約20%に発症し、男性における悪性腫瘍としての罹患率は肺がんに次いで第2位で、天皇陛下が手術をお受けになった2003年以後、患者数は年々増加しております。昨年、米国では約20万人の前立腺がんが新たに診断され、乳がん肺がんを押さえて、最も頻度の高いがんになりました。2020年には埼玉県において約4,000例の前立腺がん症例が発生すると予想されています。

埼玉医大では2005年、109例の新規前立腺がん患者に対し、手術24件、小線源放射線療法19件、内分泌療法66件行いました。この数は県下では最多です。

図：高線量率前立腺組織内照射

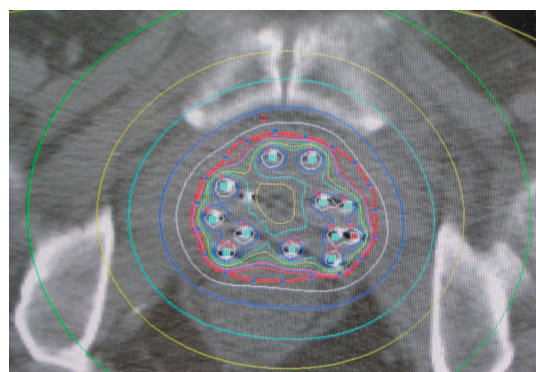
左：会陰から超音波ガイドの下、放射線照射のための針を刺入していきます



前立腺がんに対する治療は外科的手術、ホルモン治療、放射線治療が大きな柱ですが、治療にあたり従来は患者さんに泌尿器科と放射線腫瘍科とを往復していただいております。国際医療センターでは泌尿器科医と放射線腫瘍医とが協力して、同じ時間帯、同じ場所で診療にあたる目的で前立腺センターを設立しました。また放射線療法には外照射、前立腺組織内照射（一時刺入、永久刺入）など特徴を持った治療法がありますが、国際医療センターではこれらの放射線療法すべて可能な施設となります。

我々は一人一人の患者さんを中心に、様々な治療方法を適切に選択して提供していくとともに、従来の治療方法に加えロボット手術など世界に発信できるような治療方法の開発に努めていきたい所存です。

右：刺入後、前立腺だけに、かつ十分な線量が当たるように照射計画をたて治療します



胃がんに対する内視鏡治療： 内視鏡的粘膜切除と腹腔鏡下手術

消化器病センター：大谷 吉秀

年間およそ10万人の患者さんが胃がんと診断され、5万人が亡くなっています。かつては手術で治る患者さんは2割程度でしたが、最近では早く見つければ完治できるがんのひとつになりました。とくに早期がん（粘膜～粘膜下層までのがん）であれば、腹部を大きく開けることなく、内視鏡を使った「からだに優しい低侵襲治療」で治すことができます。内視鏡的粘膜切除や腹腔鏡下手術といわれる方法です。まさに医学と工学の進歩による恩恵のひとつといえます。専門の機器と特殊な技術が必要ですので、どこの施設でも行われている手術ではありませんが、当センターでお受けいただくことができます。

内視鏡的粘膜切除は通常の内視鏡検査と同様に内視鏡を胃の中まで挿入し、がんを含む粘膜を切除します（写真1）。

一方、腹腔鏡下手術は全身麻酔下で行います。手術は細い腹腔鏡

カメラによるテレビ画像を見ながら行いますので、小さな皮膚の創が数か所と、胃を切った後に腸とつなげるための5～6cmの創が1か所のみです（写真2）。患者さんの負担を少しでも軽減できるよう入院期間を短くする工夫も行っています。

手術後の痛みが軽微で、通常の開腹手術に比べ早い時期に社会復帰できるなど、理想的な治療法ではありますが、残念ながらすべての患者さんに適応できるわけではありません。当センターでは、従来からの縦割りの壁を取り払い、内科、外科、放射線科、病理などがひとつになってがんを的確に診断し、安全で再発の少ない、最適な手術法を選択して治療にあたります。

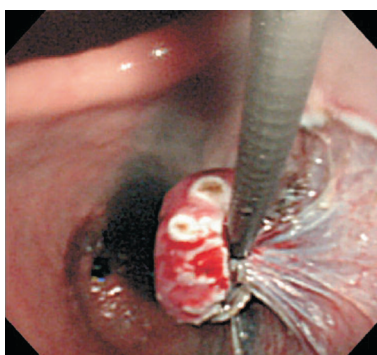


写真1：内視鏡的粘膜切除



写真2：腹腔鏡手術後の創（従来の1/3以下）

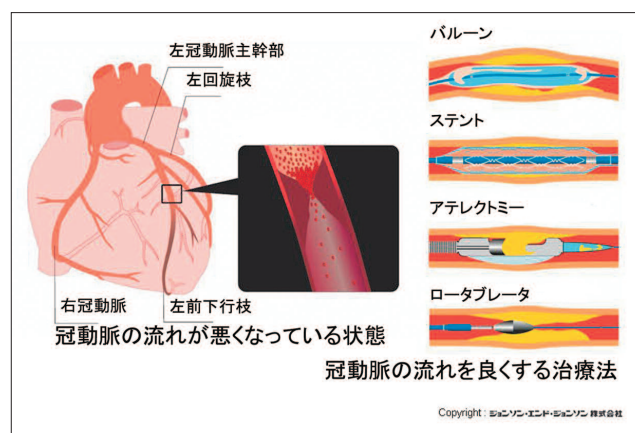
国際医療センターにおける特徴ある医療

心臓病における最新のカテーテル治療 (インターベンション)

心臓病センター：小宮山伸之

近年、食事や生活習慣の欧米化などによって糖尿病、高血圧、高脂血症といった動脈硬化の原因疾患が増えています。最近では内臓肥満にそれらが加わったメタボリック症候群が広く話題になっていますが、それは狭心症や心筋梗塞の原因になります。心臓は筋肉からなる袋状の臓器で全身に血液を送るポンプの役目をしており、その心筋にエネルギーを送るパイプが冠動脈です。冠動脈に動脈硬化が始まると血管の壁にコレステロールが膿のように蓄積して粥腫という**おでき**が作られます。突然に粥腫が破けて中の膿（コレステロール）が血管内に露出すると、そこに血栓が急激にできて血管をつめてしまいます。するとエネルギーが送られなくなった心筋細胞は壊死してポンプの動きが悪くなり、最悪で死に至ります。それが急性心筋梗塞です。その治療は、一刻も早くつまった冠動脈を再灌流させることであり、ポンプの働きを維持するためには発症後2時間以内に、また死亡率を下げるためには遅くとも12時間以内に行う必要があります。当センターではカテーテルによる冠動脈の緊急再灌流療法のため、365日、24時間体制で患者さんをお受けいたします。大動脈内バルーンパンピングや人工心補助装置を使用して重

症心不全を合併した患者さんにも対応できます。また、冠動脈の粥腫は成長すると血管の通りを悪くして狭心症の原因となりますが、その治療には薬剤溶出性金属ステントを用いたカテーテル治療を行って、冠動脈の狭窄を解除し狭心症を取り除くことができます。このほか、下肢が痛む原因となる閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル治療や僧帽弁狭窄症に対するカテーテルによる拡張術も行います。さらに心筋梗塞や下肢動脈閉塞を対象にした幹細胞移植による再生治療や心臓弁膜症に対する新たなカテーテル治療など最先端医療の実施計画も進行中です。充実した病診・病病連携を実現させますので患者さんの御紹介を宜しくお願い申し上げます。



心臓血管インターベンション図1

母体搬送・新生児期手術とハイブリッド治療

心臓病センター：加藤木利行

最近の先天性心疾患の治療は、新生児期手術の成績が向上するにつれて、さらに積極的に早期診断と早期治療を目指すようになった。重篤な先天性心疾患を胎児エコーで発見し、母体を先天性心疾患のセンターのある病院に搬送しておくことは、出生と同時に疾患の悪影響が出現する前に治療に着手できるという大きな利点がある。埼玉医科大学では、小児心臓科と産婦人科の協力体制のもとに近隣の病院での胎児エコーによるスクリーニングの普及に努めてきた。その結果、母体搬送をして埼玉医大で分娩し、出生と同時に小児心臓科が患児を管理する体制が確立した。現在すでに月に2例から3例の症例が、この方法で出産しており、今後とも増加する傾向にある。

新生児期の心臓手術では、大血管転位症に対するスイッチ手術のように根治性の高い場合もあるが、NICUにおける新生児の救命率が高くなったために、さまざまな形態の単心室類縁疾患が増加している。これらの疾患においては段階的手術によって、2歳から3歳にフォンタン手術に到達させることが最良の方法であることが多い。したがって新生児期には何らかの姑息的手術が必要となる。姑息段階では

外科的手術は必ずしも最善の方法でなく、カテーテル治療の進歩によって、手術とカテーテル治療の組み合わせで、より少ないリスクで目的を達する可能性が出てきた（ハイブリッド治療）。国際医療センターはハイブリッド手術室を用意して、最新のカテーテル治療と外科手術の同時組合せ治療によって、低侵襲かつ患者の発育に対応できる新しい新生児・乳児心臓病治療の準備が来ている。



図1：
左側に外科チーム、
右側にCアームと
カテーテルチーム

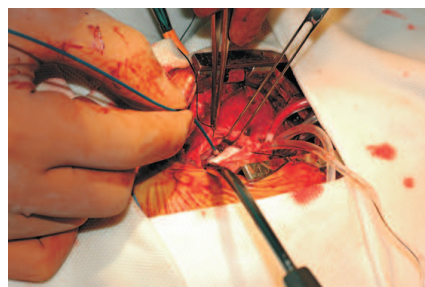


図2：
外科的には届かない
狭窄を開心術中に
ステントで拡大
するところ

国際医療センターへ診療担当が変更となる患者さんへ（ご案内）

ご連絡

現在、大学病院で診療を受けている患者さんのうち、国際医療センターへ診療科もしくは担当医師が移動する方は、受診医療機関の変更をお願いすることとなりました。

つきましては、患者さんの診察予約に関して「国際医療センター予約申込書」を発行し、対応致したいと考えておりますので、下記の予約方法およびご注意をご精読のうえ、お手続き下さい。場合により、お時間を頂くこともございますが、ご理解とご協力をお願い致します。

予約方法

- ① 診察時に担当医師とご相談の上、診察予約を決めて下さい。
- ② 受診日決定後、担当医師が調整して「国際医療センター予約申込書」を発行して渡します。
- ③ 患者さんは内容をご確認頂き、医務部計算窓口（ファイル提出窓口）へご提出下さい。
- ④ 医務部にて内容を確認し、病院控と患者様控を切り離して、患者様控を返却します。
- ⑤ 受診予約日時が、確定次第、電話またはFAXにて患者さん宅へご連絡します。

予約に関するご注意

- ① 担当医師が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
 - ② 予約日時が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。その際は、お電話にて調整させていただきます。
 - ③ 受診が決定された場合、新規に患者登録が必要となります。予約申込をされた患者さんにつきましては、埼玉医科大学病院の情報をもとに事前登録させていただきますのでご理解の程よろしくお願い致します。
- ※ご不明な点は、各外来窓口へお問い合わせ下さい。

交通案内

Access

○ 電車を利用される場合

池袋駅（東武東上線43分） 坂戸駅（東武越生13分） 東毛呂駅（路線バス約15分）
池袋駅（東武東上線30分） 川越駅（JR川越線25分） 高麗川駅（路線バス約10分）
大宮駅（JR埼京線17分） 川越駅（JR川越線25分） 高麗川駅（路線バス約10分）
八王子駅（JR八高線13分） 拝島駅（JR八高線30分） 高麗川駅（路線バス約10分）

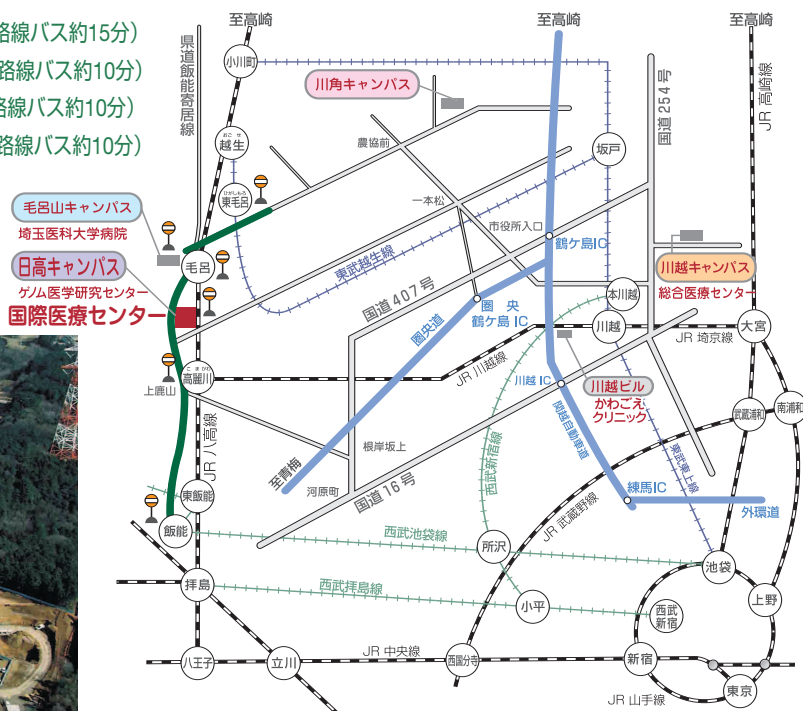
○ 車を利用される場合

圏央道圏央鶴ヶ島インターより10Km。約15分。
県道30号（飯能寄居線）沿い

住所：埼玉県日高市山根1397-1



●平成19年1月30日撮影



限りなき愛

良質で安全な医療・看護の提供を第一と考え、
日々努力をしています

私たちは、患者さんに満足度の高い医療と
看護を実践します



看護師募集

埼玉医科大学国際医療センターニュース February 2007 プレ創刊3号【院内配布用】

発行 埼玉医科大学国際医療センター開設準備室
発行責任者 尾本 良三
発行日 平成19年2月15日
印刷 ヨーコー印刷株式会社

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。